

令和7年度 第2回 芳川北小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年7月30日（水） 9 時 00 分から 11 時 00 分まで
- 2 開催場所 芳川北小学校 会議室・ほっとルーム
- 3 出席委員 河島 茂男、村松 真弓、金山 康乃、栗田 美香、青木 律子、本康 優子
- 4 欠席委員 廣野 博子、鈴木 俊徳、山内 佳美
- 5 オブザーバー 袴田 唯之（南陽協働センター）
- 6 学校支援コーディネーター 本康 優子
- 7 学 校 高木 宏康（校長）小野 芳敬（教頭）仲山 麻由（教務主任）
1年担任 伊藤 友加、藤田 旭、廣瀬 りな、2年担任 安藤 麻美、石川 友紀、
浜田裕梨、3年担任 池内 桃恵、東原 弘貴、後藤 敦子、4年担任 嶋野 和美、
山下 裕貴、高林 幸輝、5年担任 勝永 操、杉浦 秀祐、川原 怜、
6年担任 新井 将宏、加茂 夏季、袴田 淳平なかよし担任 片岡 亜裕子、松本 茅世、
加藤 友里 佐藤 富子（CSディレクター）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 佐藤 富子
- 10 議長の選出
村松委員が議長に立候補し、全員異議なくこれを承認した。
- 11 協議事項
(1) 学年経営構想及び1学期の実践の成果と課題の発表
(2) 1学期のアンケート及び全国学習状況調査の報告
- 12 会議報告
学校経営構想及び1学期の実践の成果と課題の発表と1学期のアンケート及び全国学習状況調査の報告について、議長の指示により教務主任から別紙資料に基づき説明があり、委員から以下の発言があった。
 - ・2年生の語彙力アップゲームは言葉遊びのようなもので、遊びの中から言葉が増えていくことが狙いと聞いたが、自分から発言することが苦手な子も居るのでその辺も考慮してもらいたい。（村松委員）
 - ・6年生は主体性がない、リーダーがいない、発表したり一歩前に出る子がいないと聞いた。職業体験でヒーローのような注目される仕事の方ばかりではなく、こつこつと仕事をする職業の方を呼んでみた方が良いのでは。（本康委員）
 - ・6年生へのプレッシャーが大きい。自分が子供の頃5年から6年に上がる時の雰囲気嫌だった。立場が人をつくる、もっと褒めてあげてほしい。（村松委員）
 - ・どの学年も子供は素直だが、自分事として捉えることが出来る子が少ない。先生方は話す・聞く力をつける工夫をしてくれている。読書も3年前に比べると子供たちが興味を持ち、読む時間も増えた。インターネットは自分からどんどん入っていく危険がある。子供は遊ぶことが仕事、休み時間にしっかり遊べるよう、子供たち自身が切り替えがうまくなるようになっていけると良い。語彙力アップ等の取り組みは、具体的な目標や使う場面が分かりやすくなると良い。（河島委員）

- 4年生の役割り分担はできない子はどうするのか？先生からは、できない子はどの程度ならでき
るのか考え、一人一人に合わせた指導をしていると説明があった。スマホの使い方は学校からの
指導と家庭での指導が大切。 (青木委員)
- 5年生は、1人だとルール等が守れるが集団になると守れず言葉使いも悪くなる。スマホを見て意
味を分かっていない恥ずかしい言葉を言っていたが、先生が子供たちに何が駄目なのか説明し、指
導してくれた。先生が気付き授業以外のことも指導して頂いてありがたかった。 (栗田委員)
- スマホやインターネットは家庭教育も大切。PTAで指導してくれる方を呼んで、親も学べる機
会があっても良いのでは。読書が好きになると言葉を覚える、本をたくさん読むことで意味を理解し、
普段の生活にも活かしてほしい。 (村松委員)
- 5年生の頃に出会うものが子供たちに強い印象を与える。今は先生がヒーロー、どの先生も子供
たちを思ってくれている。職員室でも子供たちのことを常に話している。 (金山委員)

以上のような意見が出され、これからも家庭や地域でできることをやっていくことが了承された。

13 1学期のボランティア活動の実践

金山委員から、1学期にボランティア活動に参加して下さった方の延べ人数等が報告された。

14 その他報告事項等

南陽協働センター 袴田

10月に家族で受けるスマホ教育を開催します。子供達を取り巻くインターネット環境について
も話すので、是非参加してください。

司会から、次回会議は11月7日(金)14時~16時に会議室にて開催する旨の報告があっ
た。また、参観会、校内運動会の日程等が伝えられ、委員に対して参加を呼び掛け、会を閉じた。